

都市経済学Ⅰ

科目ナンバリング ECP-333

選択 2単位

茅野 英一

1. 授業の概要(ねらい)

都市の魅力は、利便性の高さであり、文化芸術の中心であり、都市住民の多様性と語られる。しかし、その裏面には、都市の抱える様々な問題、いわゆる都市問題がある。日本に即して言えば、高い地価から規定される狭隘な住宅であり、毎日の交通渋滞であり、長距離通勤であり、大気汚染、騒音、振動などの環境問題であり、犯罪率の高さである。

この講義では、日本の都市の経済の実相を、いくつかの基本的なケースを具体的に取り上げながら、現代の都市経済の動きを考察していこうとするものである。

2. 授業の到達目標

都市経済についての基礎的な知識を習得し、都市経済の現状やその課題について一定の考察を進めることができることを目標とする。

3. 成績評価の方法および基準

原則として期末試験の成績で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

中村剛次郎編 『基本ケースで学ぶ地域経済学』 2008年1月(2,400円+税) 有斐閣

その他、必要に応じて、講義の中で指示する。

参考文献

佐々木公明・文世一著 『都市経済学の基礎』 2000年5月(2,000円+税) 有斐閣

5. 準備学修の内容

テキストの毎回の該当部分を予習すること。

6. その他履修上の注意事項

秋学期に開講される都市経済学Ⅱとの連続履修を要望する。

都市経済に関心があり、授業を集中して受講できる学生を歓迎する。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 都市と農村(1) |
| 【第3回】 | 都市と農村(2) |
| 【第4回】 | 世界都市・東京(1) |
| 【第5回】 | 世界都市・東京(2) |
| 【第6回】 | 世界都市・東京(3) |
| 【第7回】 | 世界都市・東京(4) |
| 【第8回】 | 世界都市・東京(5) |
| 【第9回】 | 横浜・川崎・神奈川の成長・構造・課題(1) |
| 【第10回】 | 横浜・川崎・神奈川の成長・構造・課題(2) |
| 【第11回】 | 横浜・川崎・神奈川の成長・構造・課題(3) |
| 【第12回】 | 横浜・川崎・神奈川の成長・構造・課題(4) |
| 【第13回】 | 横浜・川崎・神奈川の成長・構造・課題(5) |
| 【第14回】 | まとめ(1) |
| 【第15回】 | まとめ(2) |